

論文題目

－サブタイトルがあればこちらに記入してください。

**著者一子**1、筆者二郎2

1京都大学　理学部

2大阪大学　工学部

ichiko@abcd.ac.jp（連絡責任者のアドレス）

**要旨**（400字程度）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

キーワード（5つ以内）：キーワード1、キーワード2…

English Title

-Subtitle

Ichiko Chosha1, Jiro Hissha2

1Kyoto University

 2Osaka University

**English Abstract（~ 400 words）:** \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* **\*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\* \*\*\*\*\***

**Keywords:** (within 5 words)、 Keyword-1、 Keyword-2、 Keyword-3、 Keyword-4、 Keyword-5

1. 大見出し**（12pt / MSゴシック / 太字）**

1. 1. 中見出し**（11pt / MSゴシック / 太字）**

（1）小見出し　（11pt/MSゴシック）

このテンプレートに直接上書きをしていただくと、書式が維持された状態で論文を作成することができます。

「大見出し」「中見出し」「小見出し」「和文本文」等の各フォントやポイント（文字サイズ）は、ツールバーの「スタイル」にそれぞれ上記の名称で組み込んでありますので、必要に応じて「スタイル」から選択してください。

2. 書式

2. 1. 書式について

日本語論文の本文は、「MS明朝（11pt）」を使用してください。なお、本文中の英数字は半角とし、「Times New Roman（11pt）」を用いてください。

句読点は、「、」と「。」を使用してください。

2. 2. 書式の入力について

本文の行頭は1字下げてください。

**3. 原稿執筆の手引き**

**3. 1. 原稿の体裁について**

（1）ページ数

　ページ数、字数に制限はありません。

（2）用紙サイズ

　用紙サイズはA4です。

**3. 2. 要旨**

1ページ目に、日本語要旨（400字以内）とAbstract（英語）を記載してください。表紙ページは、できれば1ページ以内に収めてください。収まらない場合は、1ページを超えても差し支えありません。

**3. 3. キーワード**

1ページ目に、5つ以内のキーワードを日本語とそれに対応する英語で記入してください。

**3. 4. ヘッダーとフッター**

ヘッダーおよびフッターは、事務局で編集します。

**3. 5. 図・表・写真**

(1) 図表等の挿入

図・表・写真は、執筆者が責任を持って編集し、本文内に挿入してください。図表等は、できるだけ鮮明なものを使用してください。PDFで発行しますので、カラーでも結構です。

(2) 図表等の許諾

図・表・写真を引用する際は、執筆者が責任を持って権利許諾手続きを済ませて下さい。

(3)　番号とキャプション

図・表・写真には、本文への掲載順に一連の番号を付し、必ずキャプションをセンタリングして配置してください。キャプションは、**MS明朝（太字）9pt**で記載して下さい。



図1　図のキャプション

図・写真・表のキャプションは図・写真・表の下にに記載して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| A | B |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　　　　　　　　　　　　　　**表1　 表のキャプション**

3. 6. 脚注

脚注は、 登場順に1番から順番に番号を振り、各ページ内文字列の最後に入れてください[[1]](#footnote-1)。章毎に番号をリセットする必要はありません。

3. 7. 数式

数式は、右端に式番号を入れて挿入してください。

　（記入例）

 　　　　　　　　　　　　　　　(1)

  (2)

4. 参考文献

4. 1. 参考文献の書き方

参考文献は、筆頭著者のアルファベット順に記載してください。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を10名程度まで記入して、以下を省略しても構いません。

本文中での引用は、（筆頭著者のラストネーム、発行年）という形式で記入して下さい。

（記入例）

　 （Kurata, 1982）

（田中、1982）

4. 2. 記入例

（１）日本語文献等の場合

（１－１）和文雑誌の場合　（10pt / MS明朝）

著者、 雑誌タイトル **号数**、 ページ数、発行年

（記入例）

京大一郎、 物性研究 **5**、123、1966

物性 次郎、理論 三郎、 物理 四郎、日本物理学会誌 **44**、456-458、1989

（１－２）和文書籍の場合（10pt / MS明朝）

著者、『書籍名』、出版社、 発行年

（記入例）

京大花子、『書籍名』、京都大学学術出版会、2013

（１－３）ウェブページの場合（10pt / MS明朝、10pt / Times New Roman）

日本語：著者名、 所属機関名、 題名、（引用した年月日）

 URL: http://www. -----------

（記入例）

文部科学省、平成26年版科学技術白書、（2014年12月1日引用）

URL: http://www.mext.go.jp/b\_menu/hakusho/html/hpaa201401/detail/1349009.htm

（２）英語文献等の場合

（２－１）English Journalの場合　（10pt / Times New Roman）

Authors, Article title. *Journal title,* **Volume number,** Page numbers, Year

（記入例）

Aderhold, J., Davydov, V. Yu., Fedler, F., Klausing, H., Mistele, D., Rotter, T., Semchinova, O., Stemmer, J. and Graul, J., N thin films grown by metalorganic molecular beam epitaxy on sapphire substrates. *J. Crystal Growth,* **222,** 701-5, 2001

Wessel, R., Koch, C. and Gabbiani, F., Coding of time-varying electric field amplitude modulations in a wave-type electric fish. *J. Neurophysiology,* **75,** 2280-93, 1996

（２－２）Published booksの場合　（10pt / Times New Roman）

Authors, *Book title,* Editors, Volume, Page number(s), Publisher, Place (city, town etc.) of publication, Year

（記入例）

Caplar, R. and Kulisic, P., *Proceedings of International Conference on Nuclear Physics (Munich),* vol.1, p.517, American Elsevier, Amsterdam: North-Holland, 1973

Kuhn, T., Density matrix theory of coherent ultrafast dynamics. In *Theory of Transport Properties of Semiconductor Nanostructures* *(Electronic Materials),* ed. Schöll, E.,vol.4, chapter 6, pp.173-214, Chapman and Hall, London, 1998

Kurata, M., *Numerical Analysis for Semiconductor Devices,* MA: Heath, Lexington, 1982

（２－３）ウェブページの場合（10pt / Times New Roman）

English: Author. Institution Title [webpage on the internet]. (Cited date)

Available from URL: http://www. -------

（記入例）

Federal Communications Commission April 2014 Multistate 911 Outage Report. (January 20, 2015)

Available from URL: <http://www.fcc.gov/document/april-2014-multistate-911-outage-report>

1. 脚注は、各ページのこの箇所に入れて下さい。 [↑](#footnote-ref-1)